

Flottage Piac

～アメリカ大陸へ～
2台ピアノ with パーカッション

Rie & Narisa

Piano Duo Concert vol.3

スペシャルゲスト
上中あさみ 西岡まり子

Percussion

2023 **3/26** (日)

フェニーチェ堺
小ホール

開演 14:00

開場 13:30

フロッタージュピアック

山田利恵 & 鹿野なりさ

それぞれ京都市立芸術大学、大阪音楽大学
を卒業。20世紀フランスを代表する女流ピ
アニスト、マルグリット・ロンテクニックを継
承したジェルメーヌ・ドゥヴェーズ女史に学
ぶ為、渡仏。フランス大西洋岸のバス地方の町
ピアリッツで出会う。帰国後はそれぞれピ
アノの魅力を追求しながら、演奏活動や後進
の指導にあたりている。

2018年より2人での活動を開始。

入場料 3,500円

(中学生以下 2,500円)

お申込み flottagepiac@gmail.com

チケットぴあ Pコード: 233835

フェニーチェ堺

〒590-0061 堺市堺区翁橋町2-1-1

南海高野線 堺東駅 西出口より徒歩約8分



ジョブリン
Scott JOPLIN

Maple Leaf Rag

メイプル・リーフ・ラグ

ガーシュウィン
George GERSHWIN

Three Preludes

3つの前奏曲

グアスタヴィーノ
Carlos GUASTVINO

Tres Romances Argentinos

3つのアルゼンチンのロマンス

ボルコム
William BOLCOM

Garden of Eden

エデンの園

コープランド
Aaron COPLAND

Danza de Jalisco

ハリスコの踊り

バーンスタイン
Leomard BERNSTEIN

Symphonic Dance from WEST SIDE STORY

ウエスト・サイド・ストーリー



山田 利恵 Rie Yamada

京都市立堀川高校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部を卒業。フランス音楽、近現代の音楽に魅力を感じ、高校時代に来日されたジェルメーヌ・ドゥヴェーズ女史のレッスンを受けたことを機に渡仏を決意。大学を卒業後、ヴェルサイユ国立音楽院でピアノ及び室内楽を学ぶ。スペインバスク地方サン・セバスチャンでのソロリサイタル、パリやドイツでのコンサート等に出演。3年間のフランスでの研鑽を終えて帰国後、京都バロックザールにてデュオリサイタル、ピアノ修復家山本宣夫氏のフォルテピアノヤマモトコレクションコンサート、他多数のコンサートに出演。第5回吹田音楽コンクールピアノデュオ部門最高位、第3回かやぶき音楽堂ピアノデュオコンクール第3位、第14回国際青少年ピアノコンクール(ローマ)、第12回国際ピアノデュオコンクール(東京)で2台ピアノ部門第3位に入賞。第18回京都芸術祭において京都府知事賞受賞。これまでに芝令子、名畑ゆかり、矢部民、ジェルメーヌ・ドゥヴェーズ、エダ・エルランストディールの各氏に師事。ピアノデュオで田隅靖子、コンスタンティン・ガネフ、エレナ・サロキナ、練木繁夫、パスカル・ドヴァイヨン、ミシェル・ベロフの各氏の指導を受ける。現在ソロ、デュオ、室内楽などで幅広く活動、また後進の指導にあたっている。大阪大谷大学非常勤講師。

鹿野 なりさ Narisa Shikano

3歳よりピアノを始める。
7歳の時、ワルター・ハウツィッヒ氏にバッハの指導を受ける。
大阪音楽大学器楽科在学中に、ピアリッツ夏期講習会に参加し、ジェルメーヌ・ドゥヴェーズ女史に出会い、フランスへの留学を決意。ルエイユ=マルメゾン国立音楽院、パリ国立地方音楽院にて4年間に渡り研鑽を積み、両国立音楽院共に、ブルミエプリにて卒業。在学中より室内楽でのコンサートや、伴奏者として活動を始める。これまでに、ピアノを故森田幸子、森田由紀、恒川裕子、芝令子、ジェルメーヌ・ドゥヴェーズ、ダニエル・ファスケル、ブリジット・ブティノン=デュマの各氏に、ソルフェージュをサビヌ ラコワレ女史に師事。帰国後は、多数のコンサートに出演しソロでは2013年のイシハラホールでのリサイタルを始め、オール「リスト」プログラムや、フォーレにスポットを当てたりサイタルを東梅田教会にて行うなど、好評を博す。ピアノデュオでは、お話付きコンサートやパーカッションと2台ピアノによるコンサートなどさまざまな企画を行っている。また、コンクールの審査員を務める他、フランスのソルフェージュ教育を研究し、音楽家を目指す後進の指導にも力を注ぐ。



上中 あさみ
Asami Kaminaka



西岡 まり子
Mariko Nishioka

京都市立芸術大学卒業。同大学院修了。仏・トゥールーズの音楽祭に参加。現代曲の初演、音楽以外の異分野とのコラボレーションに積極的に取り組む。又、子どもたちとの対話を大切にしたい”子どもと大人のためのコンサート”を企画、公演に力を入れ、「体感しよう！生きている音楽」をモットーに様々なユニットで演奏する。フリー打楽器奏者としても、室内楽、オーケストラなど多方面に活動中。

主に子どものための公演を軸に活動する“ハッピーバーディ・バンド”を主宰。クラシックの枠にとらわれないユニット、バイオリン・アコーディオン・マリンバのトリオ「うな重」メンバー。京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師（アドミニストレーター）。<http://www.duomag.net>

同志社女子大学、フライブルク音楽大学、バーゼル音楽大学院卒業。平成18年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員。第56回ミュンヘンARD国際音楽コンクール打楽器部門ファイナリスト及び特別賞。バイエルン放送交響楽団と打楽器協奏曲を共演。第44回ダルムシュタット国際現代音楽祭、第1回日本ジュニア管打楽器コンクール第1位、第25回日本管打楽器コンクール等入賞。平成21年度平和堂財団芸術奨励賞。ソロ・アンサンブル・オーケストラ・オペラ・収録等に参加する他、Cosmo Projektとして多彩なコラボレーションを主宰。近年では小曾根真・児玉桃・大場章裕 各氏とのバルトークアンサンブルツアー、サントリーホールサマーフェスティバル2020に於いて読売日本交響楽団とマリンバ協奏曲を新作初演し、好評を博した。

昨年よりサクソフォン・打楽器によるDuo Märzを結成。委嘱新作初演や日本初演作品演奏、動画配信など意欲的な活動を行なっている。<http://www.mariko-nishioka.com>